



寒くて厳しい長い冬の後、ぱあっとやってきた春。
嬉しくて仕方ないので、あみねこたちも、きれいな隣町までお出かけするよ。



桜色の雲の下、広がる、春の夢のエッセンスのような鮮やかな色彩。



明るいトーンの、各種お洒落なチューリップ、ムスカリ、すみれ。
程よく雑草的な、野の花の隙間も、作り込みすぎない緩みがあって、イイ。



アリスの庭みたいだ。



(なあ、) (何?)

(オレたち、冬の毛糸のマフラーから、春のお洒落なスカーフに替えたの、気付いてもらえるかなあ...。)

(大丈夫、兄ちゃんすっごくカッコイイ。)

(...そうだなっ、オマエもなっ♪)



いろんな品種の色鮮やかなチューリップ、最近のはやたらとお洒落。
戻り返ったかたちや、フリルふりふり、八重のもの。



春爛漫に酔っぱらう、ひかりのおさけでいっぱいのカップだって言ったのは、宮澤賢治。ひっそりと、蜜蜂のお客を迎える、明るい静かな部屋を思ったのは、三好達治。



まるで、蓮の花のような、牡丹のような。



光のシャワー！



ここは大学通りだからね、一橋大学キャンパスがあるんだよ。
大学前のポストは、まるいやつなんだね。
(あたり一面、お日さまに暖められて、ほのかにほのかに花の香り。)



キャンパス入口、サークル勧誘の賑やかなポスターや立て看板の頭上には、新入生を祝福する、枝垂れ桜。



背後のスダジイの大木に映える、透き通るような薄紅。

(スダジイって、スダさんとこのジイさん、って連想しちゃうんだよね、どうしても。千と千尋のカマ爺みたいにさ。)



疲れたね、駅前の喫茶店、冷たい柚子茶でほっとひといき。



ここのアイス珈琲は、銅のジョッキで出してくれるんだ。



う～ん、深煎り豆のコクのある香り。



そうして、さよなら、ソメイヨシノ。

道路にたくさんの花びらを残して、本体はもう葉桜。

淡いピンクの夢のあとは、爛漫の春から、ぴかぴかの新緑の季節へ。

近所のちいさな林にも、裸の枝から、ぽつぽつと新緑のニュアンス。

抹茶パウダーをまぶしてゆくように、日に日に緑が増えてゆくのが楽しい。



同じ緑とは言っても、実にさまざまの色調、雑木林は豊かである。

酸素やら森林エッセンスやら、いいものがむくむくと湧いて出てるようだなあ。



ばあー。



緑と空に包まれて木登りするのは、楽しいね。



うう、木漏れ日まぶしい。



この辺りは、かなりもう茂ってるな。



なんか、アレ思い出さないか、アレ。
...ほら、もののけ姫にでてくる、森の木霊。
アレになった気持ち。



ポーズつけてたら、通りがかりの人に話しかけられちゃったよ。



国分寺の森ネコですって言えばよかったね。



もうすずらんが！

早いなあ。桜が咲いたと思ったら、次々といっぺんにいろいろ咲きだした。



ソメイヨシノは終わっちゃっけど、次は八重桜にしだれ桜、桃。
世の中まだまだピンク色。



なんだかおいしそう。ふんわりあまい砂糖菓子。



海棠も随分と華やかだ。



カラフルな木瓜。

阿佐ヶ谷に住んでいた時、立派な木瓜があって、貴重な実を使ってお酒を拵えたことがある。花梨みたいないい香りなのだ。



ばってんの形のオドリコソウ。

パ・ド・カトル



こんな玄関飾りになりたいな。



これは何をしているのかというとな、ふとしたことで意気投合した蜘蛛君と記念撮影をしているのだ。

(わかるかなあ～)

(わっかんねえだろうなあ～)

左手のちょっと先に写ってるんだよ。花からはいだしたとこ。

春はいいなあ、だって。



雪柳のベッド！アロマ付。

ひねもすのたりの日曜昼寝用。

あみねこの日々 晩春から初夏へ

<http://p.booklog.jp/book/50523>

著者 : yamamomon

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/yamamomon/profile>

※あみねこの著作権は、ねこやまさんにあります。

この写真絵本は、ねこやまさんの許可を得てyamamomonが制作、発表しているものです。

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/50523>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/50523>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.